

本 会 記 事

I. 平成 20 年度第 3 回日本農学会運営委員会議事録

日 時：平成 20 年 12 月 16 日（火）15 時 30 分～17 時 00 分

場 所：東京大学農学部 7 号館 A 棟 104・105 講義室

出席者：鈴木昭憲会長，日比忠明副会長，大熊幹章副会長，馬場 正（園芸），工藤貴史（魚経），白木克繁（砂防），吉迫 宏（シス農），久保田耕平（樹医），鈴木義人（植調），石橋整司（森計），戸田浩人（森立），伊藤純一（育種），水谷信夫（応動昆），桑山岳人（家禽），嶋田 透（蚕糸），嶺田拓也（雑草），桑原正貴（獣医），寺岡 徹（植病），石塚和裕（森林（代）），山川 卓（水産），酒井久治（木工），後藤英司（生環工），黒川勇三（草地），伊藤 弘（造園（代）），松崎幸江（畜産（代）），妹尾啓史（土微），入江憲治（熱農/国地開（代）），沖 一雄（気象），八村敏志（農化），夏目雅裕（農薬），山内啓太郎（繁殖），川越義則（農施），中村典裕（農情），大黒俊哉（農計），駒木貴彰（林経），中田了五（林育），黒住圭子（事務局）

欠席者：高島一昭（動臨），大坪研一（応糖科），加藤 茂（海水），良永知義（魚病），山田 智（砂丘），磯田昭弘（作物），山下修一（芝草），国枝哲夫（動遺育），中西友子（土肥），高橋克也（農経営），青柳 斉（経済），高垣美智子（農作），大木富雄（ペット），和田昌久（木材），芋生憲司（農機），塩沢 昌（農村工），松本 宏（学著協監事）

議長：鈴木昭憲会長

議題 1. 平成 20 年度第 2 回日本農学会運営委員会議事録（案）の承認について（資料 1）

山内庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。

議題 2. 平成 20 年度事業報告（案）（資料 2-1）

山内庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。

(1) 平成 20 年度シンポジウムの報告および出版関連（資料 2-2, 2-3）

中村企画担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。

議題 3. 平成 20 年度収支決算報告（案）（資料 3）

吉迫会計担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。

議題 4. 平成 21 年度事業計画（案）（資料 4-1）

山内庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり了承

された。

(1) 平成 21 年度シンポジウム実施計画案（資料 4-2）

工藤企画担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。

平成 21 年度は第 1 部が基調講演の内容になっていることから，改めて基調講演は設けない旨の説明があった。2 部で講演者が 1 名増える予定で，最終的に 9 名の講演者になるとの説明があり了承された。

議題 5. 平成 21 年度収支予算計画（案）（資料 5）

吉迫会計担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。

80 周年記念式典に 100 万円の予算を計上している旨の説明があり了承された。鈴木会長から加盟学協会へ祝賀会への参加，会費負担等のお願いがあった。

議題 6. 平成 21 年度評議員会について（資料 6）

山内庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり了承された。

議題 7. 平成 21 年度評議員・運営委員・常任委員について（資料 7）

山内庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり，平成 21 年度常任委 6 名のうち 3 名を前年度に引き続き漁業経済学会，砂防学会，システム農学会から，新たな 3 名を日本獣医学会，日本森林学会，日本水産学会から，それぞれ選出して頂くことで了承された。

今後は会員 2,000 名以上の学会（常任委員を担当）は前年の会員数で決定することで了承された。2,000 名以上の学会数は変動が予想され，その都度対応する旨説明があった。会長より常任委員選出への協力依頼があった。

議題 8. 平成 21 年度日本農学賞受賞候補業績の推薦学会発表順（資料 8）

50 音順に抽選を行い，次の通り確定した。

1. 日本土壌肥科学会・日本土壌微生物学会 2. 農業機械学会 3. 日本農芸化学会 4. 園芸学会 5. 日本作物学会 6. 植物化学調節学会 7. 日本農業気象学会 8. 日本森林学会 9. 日本木材学会 10. 農業情報学会 11. 農業施設学会 12. 日本応用動物昆虫学会 13. 日本獣医学会 14. 日本家禽学会・日本畜産学

議題 9. その他

(1) 80 周年記念式典・祝賀会について（資料 9）

鈴木会長より第 2 回運営委員会では 1 日で式典・シンポジウムを開催することで了承頂いたが，従来

通りのシンポジウムと前日の午後から記念式典・祝賀会を開催する方向で進めている旨説明があり了承された。

また、80周年記念式典・各学会の会長・評議員へ参加のお願いがあった。

(2) 新規入会について (資料10)

実践総合農学会・日本ペトロロジー学会・木質構造研究会の3学会より新規入会申請について山内庶務担当常任委員より説明があり、評議員会で諮ることです承された。

(3) 新公益法人化問題について (資料11)

山内庶務担当常任委員より資料を基に説明があった。法人化について各学会でそれぞれに対応してい

ただくよう会長よりお願いがあった。日本農学会の法人化は事務所等の問題で現状は難しいが、法人化は考えていきたい。法人化した場合の定款の作成を山内先生に願っている旨説明があった。

(4) 日本農学賞選考方法について (追加資料)

白木庶務担当常任委員より、急いで改訂するつもりはないが引続き審議していきたい旨、説明があった。改訂の意図・改訂(案)について説明があった。意見として、過半数を得票する意味があるのか、評議員の負担も考慮する必要がある等の意見が出された。その他意見があれば事務局の方へ連絡をしていただくようお願いがあった。

以上